カリキュラム区分	3カリ	シラバス区分	大学院

科目区分	科目コード	履修時期		開講専攻	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門分野	M310	1年	前期	医療技術科学	選択	感染制御学特論 anced Study on Infection Control and Disease Prever	30	2

担当教員					
美間　健彦					

関連するDPキーワード（看護学専攻）	
	① 看護に関する理論学習を通して経験を意味づける力を身につけている。
	② 人々の健康に関連する諸現象を分析し構造化する力を身につけている。
	③ 論理的に思考し他者にわかりやすく説明する力を身につけている。
	④ 看護実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。
	⑤ 看護実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法と態度を身につけている。
	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。

関連するDPキーワード（医療技術科学専攻）	
	① 臨床検査学について自ら深く学習する力を身につけている。
	② ヒトの体の仕組みや機能を科学的に説明する力を身につけている。
	③ 健康・病気について論理的に思考し他者に分かりやすく説明する力を身につけている。
	④ 臨床検査実践の場においてリーダーまたは管理者、教育者として個人や集団を動かす力を身につけている。
○	⑤ 臨床検査実践の質の向上に向けて問題意識を持ち、科学的に追求していく方法・技術を身につけている。
○	⑥ 保健医療分野に関して広い見識を身につけている。

授業目的

感染制御において、医療職の中で臨床検査技師としてどのように貢献できるかについて探求する。具体的には、病院内感染の原因微生物の種類・菌の特徴および抗菌薬に対する薬剤耐性因子・薬剤耐性機構などについて遺伝子学的なレベルで理解すると共に施設内感染発生時における分子疫学調査の方法および対処方法について学習する。また、事例を基に臨床検査技師がインフェクションコントロールチームの中においてどのように感染制御に実践者として係わっていくのかについて学習するとともに臨床検査室において感染制御のリーダシップがとれるように幅広く学習する。

到達目標（授業目標）

① 病院内感染を起こす原因微生物の種類と特徴に関する知識を修得する。
② 薬剤耐性機構および薬剤耐性遺伝子の検査方法に関する知識を修得する。

回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）
1回	ガイダンス：科目の趣旨説明と講義等の進め方について説明する。感染制御に関する問題意識を整理する。
2回	病院内感染の起因微生物（１）：病院内感染の起因微生物の種類と特徴について講義する。
3回	病院内感染の起因微生物（２）：病院内感染の起因微生物における病原性遺伝子について講義する。
4回	薬剤耐性機構：抗微生物薬剤に対する低感受性および耐性菌、多剤耐性菌の種類と耐性機構について講義する。

5回	薬剤耐性遺伝子（１）：抗微生物薬剤に対する低感受性および耐性菌、多剤耐性菌の耐性遺伝子について講義する。
6回	薬剤耐性遺伝子（２）：抗微生物薬剤に対する低感受性および耐性菌、多剤耐性菌の耐性遺伝子について講義する。
7回	カテーテル関連の血流・尿路感染症（１）：カテーテル関連の血流・尿路感染症の原因微生物の特徴について(バイオフィルム形成を含めて)、血液培養検査における結果の解釈について講義する。
8回	カテーテル関連の血流・尿路感染症（２）：カテーテル関連の血流・尿路感染症の原因微生物の特徴について(バイオフィルム形成を含めて)、血液培養検査における結果の解釈について講義する。
9回	迅速検査法・遺伝子検査法（１）：薬剤耐性菌の迅速検査法、遺伝子学的検査法および結果の解釈について講義する。
10回	迅速検査法・遺伝子検査法（２）：薬剤耐性菌の迅速検査法、遺伝子学的検査法の問題点について講義する。
11回	ICTにおける臨床検査技師の役割：インフェクションコントロールチーム(ICT)における臨床検査技師の役割と他職種間との連携について、感染防止の意識啓発および教育について講義する。
12回	分子疫学調査方法：分子疫学マーカを用いた発生源の分子疫学調査方法について講義する。
13回	新しい分子疫学調査方法：新しい分子疫学調査の方法(POT法など)について講義する。
14回	事例分析（１）：感染制御における事例を分析する。
15回	事例分析（２）：感染制御における新しい知見について分析する。
16回	
17回	
18回	
19回	
20回	
21回	
22回	
23回	
24回	
25回	
26回	
27回	
28回	
29回	
30回	

成績評価方法及び基準

口頭試問 (50%)およびレポート(50%)で評価する。トータル60点以上を合格とする。

教科書	
参考図書等	①山中喜代治　他編集　実践感染管理(金原出版) ②一山智　他監修　感染症診療の基礎と臨床(医薬ジャーナル社)　③平松啓一　編　改訂第２版　耐性菌感染症の理論と実践(医薬ジャーナル社)

授業時間外の学習について（授業準備のための指示）

前回の項目について配布プリント及び参考図書・文献等を参考に復習する。次回の項目について参考図書・文献等を参考に予習する。

関連科目

前科目	M301	臨床検査技術学特論		感染症学特論						
後科目	M311	感染制御学演習		感染症学演習	M322	特別研究Ⅰ	M323	特別研究Ⅱ		

実務家教員

備考	